

42 山形県奨励品種

品名 種名 (系統名) 両親	採用 年度	出穂 期月日	成熟 期月日	稈 長 cm	穂 長 cm	穂 数 本/m ²	芒の 多少・ 長短	草 型	穂 発 芽 性	玄米			米 千粒 重 g	食 品 質	食 味
										色 沢・ 光沢	心 白	腹 白			
[奨励品種] はえぬき (山形45号) 庄内29号×秋田31号 (あきたこまち)	平成 3年	8月 3日	9月 14日	70.3	17.4	545	中・ 中	中 間	中	中 飴・ 良	—	極 少	22.4	上 の 上	上 の 中
[奨励品種] つや姫 (山形97号) 山形70号×東北164号	平成 21年	8月 11日	9月 24日	75.7	17.2	518	稀・ 短	中 間	中	中 飴・ 良	—	極 少	22.3	上 の 上	上 の 中
[奨励品種] 雪若丸 (山形112号) 山形80号×山形90号	平成 27年	8月 4日	9月 15日	66.8	17.6	571	少・ 短	偏 穂数	や や難	中 飴・ 良	—	極 少	24.0	上 の 上	上 の 中
[優良品種] あきたこまち (秋田31号) コシヒカリ×奥羽292号	平成 9年	7月 28日	9月 7日	81.7	18.1	488	少・ 短	偏 穂数	や や難	中 飴・ 良	—	少	21.9	上 の 中	上 の 中
[優良品種] ひとめぼれ (東北143号) コシヒカリ×初星	平成 9年	8月 3日	9月 14日	80.6	18.5	551	や や少・ 短	偏 穂数	難	中 飴・ 良	—	少	22.6	上 の 中	上 の 中
[優良品種] 出羽きらり (山形100号) 山形75号×奥羽366号 (ちゅうひかり)	平成 22年	8月 4日	9月 15日	78.7	18.7	500	少・ 短	中 間	中	中 飴・ 良	(少)	中	24.5	上 の 下	上 の 中
[優良品種] コシヒカリ (越南17号) 農林22号×農林1号	平成 9年	8月 11日	9月 23日	93.2	17.9	506	少・ 短	偏 穂重	難	濃 飴・ 良	—	極 少	22.0	上 の 中	上 の 中
[認定品種] はなの舞い (庄内32号) 北陸99号×コシヒカリ	昭和 62年	7月 24日	9月 1日	85.1	18.4	453	少・ 短	偏 穂重	難	淡 飴・ 良	—	少	21.7	上 の 下	上 の 下
[認定品種] どまんか (山形35号) 中部42号×庄内29号 (イギワセ)	平成 3年	7月 30日	9月 9日	76.4	18.9	518	や や少・ 中	中 間	中	淡 飴・ 良	—	少	22.8	上 の 中	上 の 中
[認定品種] ササニシキ (東北78号) 奥羽224号×ササシグレ (ハツニシキ)	昭和 39年	8月 2日	9月 13日	82.5	18.3	584	少・ 短	穂 数	や や易	淡 飴・ 良	—	多 く 中	21.1	上 の 下	上 の 中

(水稻) 等の特性一覧表

諸抵抗性					生育の特徴			栽培上の留意点	
葉いもち	穂いもち	白葉枯病	紋枯病	耐冷性	耐倒伏性	生育初期	生育中期		生育後期
						移植～節間伸長始期まで	節間伸長始期～穂孕期まで	穂孕期～成熟期まで	
中	中	やや弱	—	極強	強	草丈はやや短めで茎数はやや少ない。	葉色濃く、生育量は少なめである。	短稈・短穂で疎粒であることから登熟が早い。	初期生育を確保し、適正な籾数確保に努めるとともに刈り遅れないよう注意する。
やや強	強	やや強	—	中	やや強	草丈は、やや短く、葉色はやや濃い。茎数はやや多い。	葉色は濃く、草丈は短い。	短稈で穂数がやや多く、初期登熟は緩慢である。	耐倒伏性に優れ、栽培しやすいものの、晩生種であるため、栽培可能な地域が限定される。施肥基準を守り、適正な籾数確保に努める。
やや強	強	やや強	—	やや強	強	草丈は「はえぬき」よりやや短く、茎数は多く、葉色はやや濃い。	草丈は短く、葉色はやや濃く、茎数は多い。	稈長は「はえぬき」よりやや短いが、穂長は並で、穂数は多い。止葉が立ち、草姿が良い。	「はえぬき」より穂数は確保しやすいが、初期生育の促進に努める。多肥栽培は品質、食味を低下させるので行わない。
中	やや弱	やや弱	強	中	中	草丈はやや長く、葉色は濃い。	葉色が濃く、その後草丈が伸長する傾向がある。	穂数が多くなると細稈化しやすく、倒伏を招くおそれがある。	割刈が発生しやすく、斑点米カメシ類の被害を受けやすいので、適正な防除に努める。また、下葉枯れが多くなりやすいので、中干しや間断かん水に努める。
やや弱	中	やや弱	—	極強	やや弱	草丈はササニシキ並で、葉色は濃く推移しやすい。	茎数はササニシキより少なく、葉色は濃く推移する。	稈長はササニシキ並でやや長く、穂数は少ない。一次枝梗割割合が高く、登熟が早い。	ササニシキより穂数、一穂籾数が少ないため、栽植密度や施肥に配慮し、籾数の確保に努める。
強	極強	中	—	強	中	草丈・茎数、葉色とも、はえぬき並である。	草丈はやや長く、茎数は、はえぬきよりやや多い。	稈長・穂長とも、はえぬきより長く、穂数は並で草姿が良い。	酒造用掛米に適する。醸造適性を低下させないため、また、耐倒伏性は中であることから、多肥栽培は行わない。
弱	弱	強	—	極強	弱	草丈は伸びやすく、葉数が進みにくい。	茎数はササニシキより少なく、葉身が伸びやすく、葉色は比較的淡い。	長稈で稈質もやや柔であり、耐倒伏性は弱である。	晩生種のため、条件のよい平坦地での作付けに限る。生育量や籾数の増加は倒伏や登熟不良に結びつくため、施肥や栽植密度に留意する。
やや強	中	やや弱	中	極強	中	草丈は長く、茎数は少ない。	節間は長めで、やや長稈になりやすい。	葉身はやや長いが枯上がりは少ない。	健苗の適期移植と保温的水管理によって生育促進を図り、早期に茎数を確保する。多肥栽培を避け、受光態勢を良くして登熟向上に努める。
やや弱	やや弱	中	—	中	やや強	草丈はササニシキ並で、茎数はやや少ない。	生育量は中庸で受光態勢が優れる。	中稈で、粒着密度も中程度であることから登熟は早い。	草姿が良好であるが、いもち病に弱いので適期防除に努める。
やや弱	弱	弱	中	やや弱	弱	草丈は並で、分けつは発生しやすい。初期の低温で生育が遅れやすい。	葉身と節間が伸びやすい。	止葉が大きいと倒伏しやすく、登熟が悪くなる。	健苗を適期に移植するとともに少肥で受光態勢を良くし、いもち病に注意する。生育量が過大になると、倒伏しやすく、品質も低下するので生育調節を十分行う。

品 種 名 (系統名) 両 親 名	採 用 年 度	出 穂 期 月 日	成 熟 期 月 日	稈 長 cm	穂 長 cm	穂 数 本/m ²	芒の多少・長短	草 型	穂 発 芽 性	玄 米			千 粒 重 g	品 質	食 味
										色 沢・光 沢	心 白	腹 白			
[認定品種] 山 形 95 号 山形59号×奥羽366号 (ちゆらひかり)	平成22年	8月3日	9月13日	81.5	19.5	520	少・やや短	中間	やや難	中飴・良	—	極少	23.3	上の上	上の中
[認定品種・低アミロース] 里 の ゆ き (山形84号) 庄1658×山形63号	平成16年	7月26日	9月4日	62.6	17.3	500	稀・極短	中間	やや難	—	—	少	22.4	中の上	上の中
[優良品種・もち] ヒ メ ノ モ チ (奥羽糯277号) 大系227号×こがねもち	昭和47年	7月27日	9月4日	79.2	18.9	427	少・短	偏穂重	易	乳白・中	—	—	21.2	上の下	上の下
[優良品種・もち] こ ゆ き も ち (山形糯87号) わたぼうし×山形糯55号	平成18年	8月3日	9月15日	78.9	19.4	435	稀・極短	偏穂重	易	乳白・良	—	—	22.7	上の中	上の中
[優良品種・もち] で わ の も ち (び系糯60号) び系38号×中新糯40号	昭和41年	8月6日	9月17日	82.1	18.2	423	無	偏穂重	易	乳白・中	—	—	19.5	上の下	上の下
[認定品種・もち] 山 形 糯 128 号 山形糯105号×庄糯3985	平成29年	7月25日	9月4日	74.1	19.7	520	稀・短	中間	やや難	乳白・中	—	—	23.9	上の下	上の中
[奨励品種・酒米] 雪 女 神 (山形酒104号) 庄酒2560×蔵の華 (出羽の里)	平成26年	8月1日	9月13日	79.8	20.1	490	やや少・中	偏穂重	やや難	中飴・良	多	少	26.8	上の下	—
[優良品種・酒米] 出 羽 燦 々 (山形酒49号) 美山錦×青系酒97号 (華吹雪)	平成7年	8月2日	9月13日	83.4	18.9	377	無	穂重	やや難	中飴・良	多	少	25.9	上の下	—
[優良品種・酒米] 美 山 錦 (信放酒1号) たかね錦のγ線照射突然変異	昭和63年	7月30日	9月11日	93.0	20.3	399	無	穂重	難	中飴・良	中	少	24.6	中の上	—
[優良品種・酒米] 出 羽 の 里 (山形酒86号) 滋系酒56号×山形酒49号 (吟吹雪) (出羽燦々)	平成16年	8月3日	9月15日	78.0	19.1	462	稀・極短	偏穂重	やや難	中飴・良	極多	極少	26.3	上の中	—

※出穂期、成熟期、稈長、穂長、穂数、玄米千粒重は、農業総合研究センター水田農業試験場（鶴岡市藤島）

諸抵抗性					生育の特徴			栽培上の留意点	
葉いもち	穂いもち	白葉枯病	紋枯病	耐冷性	耐倒伏性	生育初期	生育中期		生育後期
						移植～節間伸長始期まで	節間伸長始期～穂孕期まで		穂孕期～成熟期まで
強	強	中	—	極強	中	草丈はササニシキ並で、茎数も並である。	草丈はやや長く、茎数は、はえぬき並である。	稈長・穂長とも、はえぬきより長く、穂数は並で草姿が良い。	良質・良食味米生産のため、適正な施肥に努める。特に、耐倒伏性が中であることから、多肥栽培は行わない。
やや強	弱	やや弱	—	極強	強	草丈はやや短く、茎数はやや少ない。葉色はやや濃い。	草丈は短く、茎数はやや多い。葉色はやや濃い。	稈長は短い。止葉が立ち、草姿が良い。	穂いもちのほ場抵抗性が弱いので、移植時の箱施用剤使用など適期適正防除に努める。品質と食味特性を低下させないため、多肥栽培は行わない。
強	強	弱	強	中	中	草丈はやや長く、茎数は少ない。	葉身はやや長めだが、節間の伸びは並である。	登熟は比較的安定している。	白葉枯病に弱いので多発地帯には作付けしない。ふ先色が白で粳との識別性がないため、種子更新するなど粳と混入しないよう管理に努める。
やや弱	強	中	—	強	やや強	草丈はやや長く、茎数は少ない。	葉色はやや濃く、節間伸長は並である。	草姿は良く、登熟は早い。	倒伏には強いが穂発芽しやすいことから、適期刈取りに努める。
弱	やや弱	弱	弱	弱	やや弱	草丈はやや長く、茎数は少ない。	節間伸長は並である。	止葉が大きくなると草姿がやや乱れる。	葉いもち、穂いもちに弱いいため、適期防除に努める。耐倒伏性は、やや弱いので、多肥栽培は避ける。
やや強	やや強	やや弱	—	やや強	中	草丈はやや長く、茎数はヒメノモチ並である。	節間の伸びは緩やかである。	稈長はヒメノモチより短く、穂数はやや多い。ふ先色は“赤”である。	耐倒伏性が“中”で、穂発芽性は“やや難”であるが、適期刈取りに努める。
やや弱	やや強	やや強	—	中	中	草丈はやや短く、茎数は確保しやすい。	草丈はやや短く、茎数はやや多い。節間伸長はやや伸びやすい。	稈長は出羽燦々よりやや短い。	醸造適性を低下させないため、また葉いもち圃場抵抗性が“やや弱”、耐冷性が“中”であるため、多肥栽培は避け、適正管理に努める。
やや弱	やや弱	中	—	やや強	中	草丈は長く、茎数は確保しにくい。	葉色はやや淡く、節間がやや伸びやすい。	美山錦より稈長はやや短い。	保温的水管理で分げつを促進する。千粒重を確保するためm ² 当たり粒数を多くしない。葉いもちに弱いので適期防除に努める。
やや強	中	中	—	やや強	やや弱	草丈は長く、茎数は確保しにくい。	葉色やや淡く、節間が伸びやすい。	長稈で倒伏しやすい。	保温的水管理で分げつを促進する。倒伏しやすいので、生育調節を徹底する。千粒重を確保するためm ² 当たり粒数を多くしない。
やや強	やや強	やや強	—	極強	中	草丈はやや短く、茎数は確保しやすい。	草丈はやや短く、茎数はやや多い。節間伸長は並である。	稈長は出羽燦々よりやや短く、草姿は良い。	醸造適性を低下させないため、多肥栽培を避ける。適正なm ² 当たり粒数となるよう努め、千粒重を確保する。

でのデータ（H20～29の平均値）。